令 和 ６年 ４月 １１日

保護者様

横浜市立富士見台小学校
校 長　和 田　みずほ

要保存

災害発生時における対応について

１　特別警報・警報発令時の対応について
＜警報対象地域＞横浜市内、神奈川県全域または神奈川県東部

◇特別警報 ◇暴風警報 ◇大雪警報 ◇暴風雪警報	○午前**6**時に、左の警報が継続中の場合→休校（学校からは、連絡しません。） ○登校後に警報が出た場合は、状況により校長が適宜判断します。 （必要に応じて、メール配信等します。）
	○警報が出ていなくても、登校が危険であるとご家庭で判断した場合は、欠席にはなりません。 （学校より確認のため、保護者に連絡をさせていただきます。）

※気象情報は、横浜市危機管理室HP、横浜市水防災情報HP、テレビ、ラジオなどで確認してください。
※遠足、修学旅行など原則として延期・中止となりますが、目的地に警報等が発表されておらず時間を遅らせれば安全な場合は実施することもあります。
※休校の場合、放課後キッズクラブの受入は、クラブに直接お問い合わせください。

２「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）が発表された場合

情報名	情報発表条件	学校の対応
条件① 調査を開始の場合	南海トラフ沿いで異常な現象（※1）を観測 その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ※1南海トラフ沿いでマグニチュード7以上の地震が発生した場合や東海地域に設置されたひずみ計に有意な変化を観測した場合などを想定	通常通り
条件② 地震発生の可能性が相対的に高まった場合	観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合	原則通常通り **全市一斉休校の指示があった場合は休校**
南海トラフ地震に関連する情報（定例）	「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合において評価した調査結果を発表する場合	通常通り

◇大規模地震発生時 ※横浜市内の何れかで震度5強以上が発生	○原則として、当日及び翌日は休校となります。 ・被害が少ない場合は、校長判断で学校を再開することもありますが、被害の規模、程度により発災後3日程度経過後に学校の準備開始を想定しています。 ○登下校中は、学校か自宅か近いほうに避難します。 ・落下物（看板、外壁、ガラス）や塀、自販機や崖に注意し、近くの避難場所、公園、空き地など安全な場所へ　※家庭でも通学路の確認をしてください。 ○在校時は、授業を打ち切ります。 ・引き渡し依頼書に基づき、児童を引き渡します。
◇大規模地震にあたらない地震発生時	○震度5弱以下の場合は、校長が適宜判断します。（必要に応じメール配信） ○次の場合は、学校で児童を預かり、引き渡し依頼書に基づき児童を引き渡します。 ・地震により、JR 横須賀線、京急線が共に運転再開の見込みが立たない ・学校および周辺地域が停電となり、安全に帰宅させられない

※放課後キッズクラブが活動中は、学校で児童の預かりが原則となります。
※休日、夜間に発生した場合は、児童の状況を学校にお知らせください。

３　富士山等の噴火による火山灰の対応について

◇降灰予報	○午前7時に、横浜市内に左の予報が発表されている場合→休校 ○午前7時以降または登校後、横浜市内に降灰予報が発表された場合 →預かり、引き渡しを原則としますが、保護者の連絡があれば下校も可能とします。
◇降灰継続	○降灰が継続している間は、休校となります。

※降灰量がわずかな場合、安全面等に支障がない場合、教育活動を継続・再開することもあります。（必要に応じメール配信）

４　その他
○広域避難場所…久保山墓地、清水ケ丘公園一帯
○地域防災拠点…□保土ケ谷区：富士見台小学校／□西区：稲荷台小学校／□南区：南太田四丁目：井土ケ谷小学校、清水ケ丘1～217、236、252～256：南太田小学校、清水ケ丘 218～235、237～251：太田小学校
○学校備蓄品…児童用一人あたり：水500ml（2本）、食料（1食分）／全体用：アルミ吸着シート（296枚）、毛布（100枚）